

EYについて

EYは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出しています。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EY Japanについて

EY Japanは、EYの日本におけるメンバーファームの総称です。EY新日本有限責任監査法人、EY税理士法人、EYトランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社などから構成されています。なお、各メンバーファームは法的に独立した法人です。詳しくはwww.eyjapan.jpをご覧ください。

© 2019 EY Japan. All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。法人名および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

eyjapan.jp

Entrepreneur Fact Book

EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー
2019 ジャパン





Contents

- 01 ご挨拶
- 03 選考委員長より
- 04 EY Entrepreneur Of The Year 2019 Japan 候補者
- 06 Master Entrepreneur Of The Year 部門
- 08 Exceptional Growth 部門
- 20 EY Entrepreneur Of The Year 歴代ファイナリスト一覧
- 26 EY Entrepreneur Of The Year 前年度受賞者からのメッセージ
- 28 選考委員

ご挨拶

EYは次世代を担うビジネスリーダーの育成に貢献すべく、1986年からEY Entrepreneur Of The Year(以下、EOY)を開催しており、日本では2001年から参加しています。新たな事業領域に挑戦するアントレプレナーの勇気と努力、そして事業を通じて社会的課題の解決に貢献する彼らの活動を称える世界的なプログラムとして、これまで多くのアントレプレナーを日本から世界に送り出してきました。EOYにて受賞されたアントレプレナーたちは今、世界が急激に変化する中、ますます社会での存在感を高めています。

EY Japanにおいても、今年、私どもはAsia-Pacificエリアに参画し、新たなスタートを切りました。23カ国から成り立っているこのエリアにおいて、EY Japanは最大の事業拠点です。日本からアジア太平洋地域へ、そして全世界へとグローバル展開を指向するクライアントの皆さんに、EYのグローバルネットワークを活かしたスピーディーかつ高品質のサービスをこれからも提供し続けていきたいと考えています。

私たちEY JapanはEOYの活動を通じて、これからもアントレプレナーの支援を続けていきます。イノベーションを起こし、新しい産業や雇用を創出するアントレプレナーたちの活躍にスポットライトを当てることで、新たな時代に向けて、彼らが日本のみならず世界経済の活性化に貢献できることを何よりも願っています。

今年もさまざまな事業分野から、社会に対して革新的な価値をもたらし活躍されているアントレプレナーの皆さんを、日本代表候補としてご紹介します。

アントレプレナーの皆さんをはじめ、EOY Japanの表彰式にご参加いただくすべての皆さんにとって、新たなネットワークおよびビジネスチャンスを生み出すきっかけとしていただければ幸いに存じます。

EY Japan Chairman & CEO 辻 幸一





クオンタムリープ株式会社
代表取締役 ファウンダー&CEO
出井 伸之 氏

EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパンの活動に寄せて

本大会の選考委員長を務めてから、今回で6年目を迎える。時の過ぎゆくのは早いものだ。モナコで行われる世界大会に選考委員として初めて参加したときに感じたのは、多様性の大きさだった。

文化や民族など異なるバックグラウンドを持ったアントレプレナーたちが世界に対して戦いを挑む姿に、日本ではなかなか見ることのできない激しいグローバリゼーションの姿を垣間見た気がしたものだった。

しかし、そんな日本も今、新たな時代に向けて急激に変化を遂げようとしている。少子高齢化が顕在化し、国内市場の縮小や人手不足が深刻化していく中、日本企業の危機感は高まっており、すべてはグローバルな視点から考えざるを得なくなった。そのキーとなる多様性＝ダイバーシティという言葉も今や当たり前のように問われるようになった。それだけではない。気候変動によって地球環境が危機を迎える中、私たちの企業活動も持続的・社会の実現に向けて、国連で提唱されたSDGsやESGへの取り組みを意識する必要性がますます増している。また、環境問題だけでなく、働き方改革や女性活躍などにも視野を広げ、それに適したビジネスモデルへ転換しなければならない事態にも迫られている。

こうした変化の時代を乗り切るときにこそ、これまでとは異なる価値観を持ったアントレプレナーたちが欠かせない。イノベーションを起こし、新たなビジネスを生み出す彼らこそ、これから社会を変えていくキーパーソンになり得るのである。

今後、日本でもAIやIoTなどの活用によって、あらゆるもののがデータをもとに判断される時代がやってくるだろう。すでに日本企業でもデジタルトランスフォーメーションへの取り組みが活発化している。社会が新たな価値を欲しているときこそ、アントレプレナーにとって大きなチャンスになる。また、現在アジアの成長は凄まじく、今後世界経済の中心はアジアになるだろう。このアジアの成長が新しいビジネス機会を創出することになり、この意味においても彼らにとってはチャンスとなるだろう。

今回のEY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーでも、そんな時代の変化を楽しむアントレプレナーたちと一緒に未来を考えながら、ポジティブな議論がしたいと思っている。

EY Entrepreneur Of The Year 2019 Japan 候補者

Master Entrepreneur Of The Year 部門



浅田 剛夫 氏 **7p**
井村屋グループ株式会社

Exceptional Growth 部門



太田 睦 氏 **9p**
株式会社ギフティ



小野田 成良 氏 **10p**
株式会社ヘリオス・ホールディングス



窪田 規一 氏 **11p**
ペプチドリーム株式会社



菅 裕明 氏 **11p**
ペプチドリーム株式会社



隈 扶三郎 氏 **12p**
株式会社西部技研



後藤 芳英 氏 **13p**
後藤電子株式会社



小林 りん 氏 **14p**
学校法人ユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパン



長澤 重俊 氏 **15p**
株式会社はくばく



丸谷 智保 氏 **16p**
株式会社セコマ



村上 清貴 氏 **17p**
株式会社村上農園



山崎 敦義 氏 **18p**
株式会社TBM



山本 博士 氏 **19p**
株式会社スマレジ

部門別・氏名50音順

Master Entrepreneur Of The Year 部門



- ▶ 業界や市場を代表する存在
- ▶ すべてのアントレプレナーのロールモデルとなる存在
- ▶ 海外で企業活動を展開し、グローバルな影響力を有する
- ▶ ビジネスマodelの競争優位性・技術力・マーケティング力が国内外で注目されている

多様な食品事業でおいしい!の笑顔をつくる

浅田 剛夫 氏

井村屋グループ株式会社

代表取締役会長(CEO)

〒514-8530 三重県津市高茶屋七丁目1番1号

<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋グループは1896年の創業以来、「不易流行」の考えを基本に「特色経営」を掲げ、菓子・食品・デイリーチルド・点心デリ・冷菓・冷凍菓子・スイーツ・調味料事業と多様な事業を展開。和と自然の味を生かし、理念である「おいしい!の笑顔をつくる」をグローバルに展開している。



おいしい!の笑顔をつくる
井村屋グループ株式会社



Takeo Asada

1965年中央大学経済学部卒。関西醸造会社を経て1970年井村屋製菓(現・井村屋グループ)に入社。営業部門をスタートにアメリカンレストラン事業立ち上げに参画、その後東京支店長、調味料事業でも様々な改革を断行。1993年取締役、2001年専務取締役、2003年社長。2010年10月持株会社制移行に伴い、井村屋グループ社長、2013年6月会長に就任。

Exceptional Growth 部門



- ▶ 事業を成功に導き、注目度が高まっている、あるいは注目されている存在
- ▶ 後進のアントレプレナーのロールモデルとなる存在
- ▶ 海外で一定の影響力を有し、さらなる展開・拡大を予定している
- ▶ 革新的な技術やビジネスモデルによって事業を展開している
- ▶ 著しい成長をとげた、あるいは成長途上であり、今後さらなる成長が期待されるアントレプレナー

eギフトプラットフォーム事業を展開する

太田 瞳 氏

株式会社ギフティ

代表取締役社長

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-10-25 齊征池田山ビル2階

<https://giftee.co.jp/>

eギフトの発行から流通まで一気通貫で提供するeギフトプラットフォーム事業を国内外で展開。カジュアルギフトサービス「giftee」、eギフトやチケットを発行し販売する「eGift System」、eギフトを活用した法人向けソリューション「giftee for Business」、地域活性プラットフォーム「Welcome! STAMP」を、個人、法人、自治体を対象に提供。

giftee*



Mutsumi Ota

1984年生。慶應義塾大学総合政策学部卒業。2007年アクセンチュア株式会社にて公官庁の大規模開発業務に従事。2010年株式会社ギフティを設立、代表取締役に就任。

挑戦を恐れず、失敗を恐れず常に前進する

小野田 成良 氏

株式会社ヘリオス・ホールディングス

代表取締役

〒441-1113 愛知県豊橋市東森岡2丁目7-6

<https://www.helios.jp>

インフラ整備ODA事業や海外民間事業を推進する国際事業部、インテリア製品を全国に販売する卸事業部、一般顧客向けのオンラインショップを運営するEC事業部の3事業部で構成。バングラデシュにてJICA円借款による26万台のプリペイドガスマーター導入事業を進めるなど、日本の技術を海外に展開すべく活動中。



Shigeyoshi Onoda

1977年 愛知県生まれ

2001年 New England College
(米国)卒業

その後約2年間、現地貿易会社に勤務

2003年 帰国し、株式会社ヘリオス・ホールディングスを設立
代表取締役に就任

創薬開発におけるOnly 1企業を目指す

窪田 規一 氏 菅 裕明 氏



ペプチドリーム株式会社

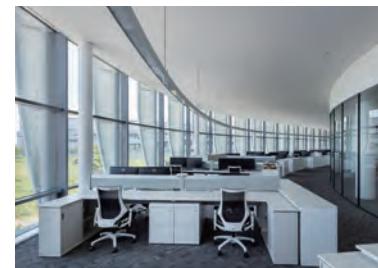
取締役会長

創業者

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-23

<https://www.peptidream.com/>

世界唯一、独自の創薬プラットフォームシステムを活用し、今まで実用化が困難であった特殊ペプチド創薬を、低分子医薬、抗体医薬に次ぐ新しい創薬分野として確立を目指す。世界大手製薬企業19+1社と共同研究開発を推進すると共に、新しい創薬開発に向けて独自開発も進めている。



Kiichi Kubota

1976年 早稲田大学卒業
1978年 (株)Special Reference Laboratory 入社
2000年 (株)ジー・ジー・エス創立、専務取締役
2001年 同社 代表取締役社長
2006年 ペプチドリーム(株)創立
代表取締役社長
2017年 同社 代表取締役会長
2017年 ペプチスター(株)創立
代表取締役社長

Hiroaki Suga

1989年 岡山大学卒業
1994年 マサチューセッツ工科大学
化学科 Ph.D.
1994年 米国マサチューセッツ総合病院、ハーバード大学医学部 博士研究員
2002年 ニューヨーク州立大学バッファロー
校化学科Associate Professor
2006年 ペプチドリーム株式会社
共同創立 社外取締役
2010年 同大学大学院理学系研究科 教授

“ハニカム”で世界の空気問題に挑む

隈 扶三郎 氏

株式会社西部技研

代表取締役

〒811-3134 福岡県古賀市青柳3108-3

<http://seibu-giken.com>

環境保全、省エネルギー、先端テクノロジーを事業ドメインに、“ハニカム”ローターをコア部品とした産業用特殊空調設備である、デシカント除湿機、VOC濃縮装置、全熱交換器等の製造販売、アフターメンテナンスを行う。国内のみならず、スウェーデン、米国、中国にある子会社を通じて世界中に販売網を有する。



Fumio Kuma

1964年生まれ。1987年に株式会社西部技研へ入社後、業務研修のため総合商社へ出向し、米国駐在を経験する。その後、株式会社西部技研東京営業所勤務、専務取締役 営業本部長を経て、2002年に代表取締役に就任。

2014年 春の藍綬褒章 受章。

2016年 在福岡スウェーデン名誉領事 挙命。

コイルの世界を変える革新事業

後藤 芳英 氏

後藤電子株式会社

代表取締役

〒991-0063 山形県寒河江市柴橋字台下734-1

<http://www.goto-denshi.co.jp>

ボイスコイル、ピックアップコイル等の製造及び販売。コイル製造という一見すると成熟した業界にありながら、常に技術革新を続け、光ピックアップコイル、真四角線コイル、非接触充電用コイルなど、次の時代を先取りした製品を開発。独自のポジションを確立し、世界中で後藤電子のコイルが採用されている。

GOTO



Yoshihide Goto

1976年 日本大学法学部卒業 後藤電子の前身であるパイン電子に入社 工場長就任

1978年 有限会社後藤電子工業設立 専務取締役就任

1986年～2015年 この間海外進出(中国4社、米国1社、メキシコ2社、フィリピン1社)

1991年 後藤電子株式会社設立 代表取締役に就任

2004年 国内天童工場設立 現在に至る

社会に変革を生むチェンジメーカーの育成

小林 りん 氏

学校法人ユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパン

代表理事

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉5827-136

<https://uwcisak.jp/jp/>

ユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパンは、世界84カ国から200名の生徒が集う、日本初の全寮制国際高校だ。教育理念は「自ら成長し続け、新たなフロンティアに挑み、共に時代を創っていくチェンジメーカーを育む」こと。国際バカロア資格と日本の高校卒業資格の取得が可能で、生徒の約7割に奨学金を給付している。



Lin Kobayashi

全額奨学金をうけてカナダの全寮制高校に留学中、メキシコで圧倒的な貧困を目の当たりにする。その原体験から開発経済を学び、UNICEFでフィリピンのストリートチルドレンの教育に携わるうち、リーダーシップ教育の必要性を痛感。帰国後、2014年に日本初の全寮制国際高校を開校する(2017年にはUWCへ加盟)。



大麦、雑穀を世界の主要食糧とする

長澤 重俊 氏

株式会社はくばく

代表取締役社長

〒409-3843 山梨県中央市西花輪4629

<http://www.hakubaku.co.jp/>

株式会社はくばくは「穀物の感動的価値を創造し、人々の健康と豊かな食生活を実現します。」を企業理念とし、穀物をもっと美味しく、簡単に、楽しく食べて頂き、人々が健康で豊かな食生活を送っていただくための事業を展開。主な事業として、大麦の精麦事業、雑穀事業、乾麺事業、麦茶事業、製粉事業、米穀事業などを行っている。



Shigetoshi Nagasawa

1966年 山梨県南巨摩郡富士川町
生まれ

1985年 山梨県立甲府南高等学校
卒業

1989年 東京大学経済学部 卒業
在学中は運動会ラグビー
部に所属

1989年 住友商事(株) 入社
コーヒーの輸入販売に従事
1992年 (株)はくばく 入社
2003年 (株)はくばく 代表取締役社
長就任



地域密着による企業ブランド価値の向上

丸谷 智保 氏

株式会社セコマ

代表取締役社長

〒064-8620 北海道札幌市中央区南9条西5丁目421番地

<https://www.secoma.co.jp/>

北海道内外と米国に展開する31社の企業グループ。グループ企業の農業、食品製造、物流・卸、小売により独自のサプライチェーンを構築し、システム開発、設備メンテナンスなども内製化している。店舗網は北海道と関東の一部に展開し、総店舗数は1,237店(2019年9月末時点)、年間売上高は約2千億円に上る。

Secoma



Tomoyasu Marutani

1954年北海道池田町出身。慶應義塾大学法学部を卒業後、株式会社北海道拓殖銀行に入行。同行破綻後はシティバンク エヌ・エイに転身し、札幌支店長、営業本部 副本部長、顧客・人材開発本部長を歴任。2007年に株式会社セイコーマート(現 株式会社セコマ)に入社。専務取締役、取締役副社長を経て2009年より現職。

ハート&ハイテク農業で「世界一の施設野菜メーカー」を目指す

村上 清貴 氏

株式会社村上農園

代表取締役社長

〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央4-16-1 広電コイン通りビル 3F

www.murakamifarm.com

ブロッコリースーパースプラウトや豆苗などの発芽野菜を全国9ヶ所の施設で生産する国内トップメーカー。有用成分の含有量をチェックしながら出荷する本格的な「機能性野菜」、豆苗等の「大衆普及型常備野菜」が2本柱。2018年からはオランダ企業と提携し、マイクロハーブなどの「高級レストラン向け野菜」を生産し、多角化を推進中。



Kiyotaka Murakami

1960年山口県生まれ。83年広島大学総合科学部卒。同年リクルート入社。営業、商品開発等の管理職を経験後、93年に入社。96年「かいわれO-157の風評被害」で売上は1/4に激減するが、自ら開発した新野菜によりわずか1年5ヶ月で黒字化を達成。2007年社長就任。昨年度の売上は就任前の3倍強の100億。



日本発の新素材でサステナビリティ革命に挑戦

山崎 敦義 氏

株式会社TBM

代表取締役CEO

〒104-0061 東京都中央区銀座2-7-17-6F

<https://tb-m.com/limex/>

LIMEXは、石灰石を主原料として紙やプラスチックの代替となる日本発の新素材。水や木、石油資源の使用量を抑えて紙やプラスチックの代替製品を製造することができる。安価で豊富な石灰石を用いて、海洋プラスチック汚染や資源枯渇等の問題解決に貢献することで、エコロジーとエコノミーを両立し、持続可能な循環型社会の実現を目指す。



Nobuyoshi Yamasaki

1973年、大阪府岸和田市生まれ。岸和田市久米田中学校、大工見習いを経て、20歳で中古車販売業を起業。30歳で訪れた欧州で、「グローバル」「100年後の継承」「人類の幸せ」をテーマに1兆円事業を興したいと奮起、2011年に株式会社TBMを設立。2019年、企業価値評価額「1218億円」、ユニーク企業になる。

ソフトウェアとインターネットを通じて いい未来をつくる

山本 博士 氏

株式会社スマレジ

代表取締役

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4-2-12 東芝大阪ビル3F

<https://corp.smaregi.jp/>

株式会社スマレジは、インターネット社会においてデザインとテクノロジーを駆使して「いい未来をつくる」ことを理念としたテクノロジー企業。高機能クラウド型POSレジサービス「スマレジ」や、勤怠・給与・労務管理システム「スマレジ・タイムカード」などのクラウドサービスを提供している。



Hiroshi Yamamoto

2003年よりITエンジニアとして多数の業務システム開発に従事。複数の業種をまたいだ業務知識を持ち、過去の経験を裏付けつつも既成概念にとらわれない斬新なアイディア立案を得意とする。2011年 株式会社プログラム代表に就任後、ドラッグストア向けPOSシステムを開発した経験を元に「スマレジ」を立ち上げる。

歴代ファイナリスト

EY Entrepreneur Of The Year Japan

■印は各年日本代表
 □印は大賞受賞者
 ■印は特別賞
 □印は審査員特別賞
 (氏名50音順、会社名は受賞時のものを掲載)

2018

栗田 貴也 氏
 株式会社トリドールホールディングス

岡村 恒一 氏
 株式会社オカムラ食品工業

木村 隆夫 氏
 木村情報技術株式会社

齊藤 寛 氏
 株式会社シャトレーゼホールディングス

重道 泰造 氏
 株式会社アイグラン

□ 白石 徳生 氏
 株式会社ベネフィット・ワン

土橋 秀位 氏
 株式会社クロスフォー

■ 名越 達彦 氏
 株式会社バネイル

樋口 龍 氏
 株式会社GA technologies

藤田 哲也 氏
 株式会社カンディハウス

松浦 信男 氏
 万協製薬株式会社

■ 矢野 博丈 氏
 株式会社大創産業

山本 富造 氏
 山本化学工業株式会社

■ 吉松 徹郎 氏
 株式会社アイスタイル

□ 河野 雅一 氏
 株式会社プロドローン

佐田 幸夫 氏
 株式会社i&C

佐藤 壽哉 氏
 株式会社テラスカイ

■ 柴田 紳 氏
 株式会社ネットプロテクションズ

染谷 昇 氏
 ソーメスサドル株式会社

□ 辻 康介 氏
 株式会社マネーフォワード

原田 英世 氏
 株式会社カンパーランド・ジャパン

□ 本多 孝充 氏
 本多プラス株式会社

宮本 明岳 氏
 株式会社タウ

吉田 剛 氏
 株式会社キャロットカンパニー

2016

石川 伸 氏
 株式会社おとうふ工房いしかわ

■ 伊藤 朋子 氏
 inQs株式会社

井元 恵生 氏
 株式会社バリュープランニング

上野 隆一 氏
 株式会社ウエノ

□ 鎌田 和樹 氏
 UUUM株式会社

久田 康弘 氏
 株式会社Liquid

久保田 雅俊 氏
 株式会社サーキュレーション

小清水 丈久 氏
 株式会社寿美家和久

小松 隆史 氏
 株式会社ナノ・グレイズ

寄本 晋輔 氏
 株式会社SOU

島田 昌之 氏
 株式会社広島クライオブリガ
 ベーションサービス

住谷 栄之資 氏
 KCJ GROUP株式会社

■ 高岡 本州 氏
 株式会社アウェイヴ

棚橋 一成 氏
 株式会社タック

常包 浩司 氏
 eBASE株式会社

■ 長沼 昭夫 氏
 株式会社さのとや

中正 雄一 氏
 株式会社グローバルグループ

■ 中村 創一郎 氏
 株式会社Loop

藤田 恭嗣 氏
 株式会社メディアドゥ

藤森 直治 氏
 株式会社ヒーディーピー

古川 浩 氏
 PicoCELA株式会社

□ 古木 大咲 氏
 株式会社インベスターーズクラウド

柳橋 仁機 氏
 株式会社カオナビ

山本 敏行 氏
 ChatWork株式会社

2017

阿部 佳孝 氏
 株式会社朝日相扶製作所

天沼 聰 氏
 株式会社エーアクローゼット

今村 勉也 氏
 株式会社ユニゾンシステムズ

梶澤 一 氏
 株式会社リエイ

■ 河野 貴輝 氏
 株式会社ティーケービー

日下 康幸 氏
 株式会社アストロ数理ホールディングス

藏本 健二 氏
 株式会社フェニックスバイオ

2015

青木 隆幸 氏
 SORABITO株式会社

□ 岩元 美智彦 氏
 日本環境設計株式会社

上村 一行 氏
 株式会社アイアンドシークルーズ

内山 幸樹 氏
 株式会社ホットリンク

■ 遠藤 優介 氏
 株式会社遠藤商事・Holdings.

木下 勝寿 氏
 株式会社北の達人コーポレーション

久世 良太 氏
 株式会社サンクゼール

古俣 大介 氏
 ピクタ株式会社

阪根 信一 氏
 seven dreamers laboratories
 株式会社

佐野 徹朗 氏
 アカウンティング・サービス・
 ジャパン株式会社

■ 简井 宣政 氏
 株式会社東海メディカル
 プロダクト

中川 淳 氏
 株式会社中川政七商店

中村 誠司 氏
 中央電力株式会社

新美 秀哉 氏
 World Japan株式会社

西澤 亮一 氏
 株式会社ネオキャリア

能作 克治 氏
 株式会社能作

■ 野口 和輝 氏
 株式会社N・フィールド

長谷川 純代 氏
 株式会社グラフィコ

林 隆弘 氏
 HEROZ株式会社

春山 廉彦 氏
 株式会社セフリ

福田 幸雄 氏
 株式会社アスカネット

松本 恭撮 氏
 ラクスル株式会社

南 壮一郎 氏
 株式会社ビズリーチ

宮川 洋 氏
 株式会社イード

宮本 健治 氏
 株式会社コーウェル

山田 理恵 氏
 東北電子産業株式会社

吉野 佳秀 氏
 ベステラ株式会社

2014

青木 信博 氏
株式会社青木商店
石出 和博 氏
ハウジングオペレーション
アーキテクツ株式会社
磯野 謙 氏
自然電力株式会社
猪野 栄一 氏
株式会社オプティ
宇佐美 進典 氏
株式会社VOYAGE GROUP

■ 小澤 洋介 氏
株式会社ジャパン・ティッシュ・
エンジニアリング
河南 雅成 氏
株式会社ジーンテクノサイエンス
櫻井 英治 氏
株式会社エラン
■ 佐瀬 守男 氏
株式会社ホットランド
佐野 健一 氏
株式会社ビジョン
鈴木 堅之 氏
株式会社TESS
須田 健太郎 氏
株式会社フリーブラス

左右田 稔 氏
東建コーポレーション株式会社

高松 宏幸 氏
株式会社浜松ファーマリサーチ

田中 俊彦 氏
株式会社アイモバイル

谷口 恒 氏
株式会社ZMP

田畠 利彦 氏
ジーライオングループ
(株式会社クインオート)

辻 保彦 氏
辻製油株式会社

時津 孝康 氏
株式会社ホーブ

永井 健一 氏
株式会社グリーンペイタード

中石 真一路 氏
ユニバーサル・サウンドデザイン
株式会社

中村 創一郎 氏
株式会社Looop

■ 中村 俊郎 氏
中村フレイズ株式会社

中村 紀子 氏
株式会社ボンビズ

平川 昌紀 氏
株式会社きちり

本田 謙 氏
株式会社フリークアウト

宮沢 文彦 氏
株式会社ボルテックス

元榮 太一郎 氏
弁護士コム株式会社

森 敬太 氏
サンハイオ株式会社

山下 智弘 氏
リノべる株式会社

山中 和也 氏
株式会社ナビバード

山本 正登 氏
株式会社ケミカル山本

□ 吉田 浩一郎 氏
株式会社クラウドワークス

吉田 大介 氏
株式会社エーアイ

2012

栗田 貴也 氏

株式会社トリドール

□ 佐々木 勉 氏
株式会社アイキューブ
システムズ

真田 哲弥 氏
KLab株式会社

丹下 大 氏
株式会社SHIFT

■ 丹野 博 氏
株式会社キューピクス

■ 富田 洋 氏
ジオ・サーチ株式会社

ハリー・A・ヒル 氏
株式会社オークローン
マーケティング

細野 昭雄 氏
株式会社アイオー・データ機器

■ 松村 博史 氏
医療法人徳真会グループ

山本 強 氏
地盤ネット株式会社

米山 久 氏
株式会社エービーカンパニー

2013

池田 元英 氏
株式会社エナリス
■ 石川 康晴 氏
株式会社クロスカンパニー
石見 陽 氏
メドビア株式会社
及川 智正 氏
株式会社農業総合研究所
菊池 誠晃 氏
株式会社リアルワールド
■ 杉山 仁朗 氏
富士特殊紙業株式会社

武永 修一 氏
株式会社オークファン

谷口 義晴 氏
日本セラミック株式会社

□ 平尾 丈 氏
株式会社じげん

藤尾 益雄 氏
株式会社神明

□ 星野 佳路 氏
株式会社星野リゾート

水野 泰三 氏
株式会社アルペン

吉松 敬郎 氏
株式会社アイスタイル

渡邉 幸義 氏
株式会社アイエスエフネット

2010

大和田 哲男 氏
株式会社アピー

菊川 曜 氏
株式会社ガーラ

木村 佳司 氏
株式会社メディネット

□ 山海 嘉之 氏
CYBERDYNE株式会社

■ 田中 仁 氏
株式会社ジェイアイエヌ

馬場 功淳 氏
株式会社コロプラ

■ 山下 和貴 氏
株式会社ヴァロール

2009

池田 裕二 氏
イマジニアリング株式会社

黒田 俊明 氏
株式会社ナガオカ

□ 小松 真実 氏
ミュージックセキュリティーズ
株式会社

□ 佐藤 仁一 氏
株式会社池月道の駅
(あら・伊達な道の駅)

■ 庄司 秀樹 氏
東洋システム株式会社

似鳥 昭雄 氏
株式会社ニトリ

□ 平賀 督基 氏
株式会社モルフォ

松谷 貴司 氏
マニー株式会社

三村 等 氏
株式会社ナガオカ
矢崎 雄一郎 氏
テラ株式会社

2008

石黒 不二代 氏
ネットイヤーグループ株式会社

■ 石橋 博良 氏
株式会社ウェザーニュース

中山 廣男 氏
テフコ青森株式会社

西村 登 氏
オリエンタルシステム株式会社

深田 智之 氏
株式会社くつろぎ宿

福田 章一 氏
株式会社ウェルシィ

松下 喜彦 氏
オリエンタルシステム株式会社

宮澤 栄一 氏
株式会社デジタルハーツ

2004

江尻 義久 氏
株式会社ハニーズ

榎原 暢宏 氏
ジャパンベストレスキューシステム
株式会社

■ 坂本 孝 氏
ブックオフコーポレーション株式会社

猿渡 肇 氏
海鱺丸ビール株式会社

土井 宏文 氏
株式会社ジャパン・デジタル・
コンテンツ

野坂 英吾 氏
株式会社トレジャーファクトリー

鉢嶺 登 氏
株式会社オブト

春山 満 氏
株式会社ハンディネットワーク
インターナショナル

宮田 尚彦 氏
朝日インテック株式会社

山口 昭 氏
株式会社木の城たいせつ

2007

□ 浅野 邦子 氏
株式会社第一

兼元 謙任 氏
株式会社オウケイウェイヴ

木南 陽介 氏
株式会社リサイクルワン

菅原 雅史 氏
インスペック株式会社

瀬戸 欣哉 氏
株式会社MonotaRO

■ 隈 良郎 氏
株式会社エヌ・ビー・シー

村井 哲之 氏
株式会社コスト削減総合研究所

山田 慶太 氏
アサカ理研工業株式会社

2003

安達 一彦 氏
株式会社インテリジェントウェイブ

■ 石川 光久 氏
株式会社プロダクション・アイジー

小笠 公也 氏
株式会社オントекс

國光 浩三 氏
株式会社EMシステムズ

佐藤 元則 氏
株式会社エイスエイ

関田 仁志 氏
サイバーレーザー株式会社

孫 大雄 氏
株式会社オブトラン

本村 昌次 氏
株式会社スタジオアリス

森下 篤史 氏
株式会社テンボスバスターズ

2006

小方 功 氏
株式会社ラクーン

笠原 健治 氏
株式会社ミクシィ

鎌田 雅彦 氏
SBSホールディングス株式会社

坂巻 千弘 氏
株式会社パリオセキュア・
ネットワークス

佐藤 英児 氏
株式会社プロデュース

■ 鈴木 清幸 氏
株式会社アドバンスト・メディア

高島 宏平 氏
オイシックス株式会社

松田 正男 氏
株式会社拓人

松藤 展和 氏
アップコン株式会社

三本 守 氏
株式会社タケエイ

森 正文 氏
株式会社一休

吉原 直樹 氏
株式会社アルテサロン

渡辺 忠一 氏
ホールディングス

フロンティア・ラボ株式会社

2002

■ 新藤 次郎 氏
株式会社セラーテムテクノロジー

進藤 晶弘 氏
株式会社メガフュージョン

鳥谷 浩志 氏
ラティス・テクノロジー株式会社

中島 武 氏
際コーポレーション株式会社

中富 一郎 氏
ナノキャリア株式会社

堀 主知 口バート 氏
株式会社サイバード

山本 雪雄 氏
エム・アンド・エス・ファイン
テック株式会社

横石 知二 氏
株式会社いろどり

2005

梶本 修身 氏
株式会社総合医科学研究所

小森 伸昭 氏
アニコムインターナショナル株式会社

■ 杉本 哲哉 氏
株式会社マクロミル

高橋 巍 氏
株式会社ホーブ

谷本 肇 氏
リアルコム株式会社

長谷川 博之 氏
株式会社ヒューモニー

平山 啓行 氏
株式会社ゼクス

山崎 伸治 氏
株式会社シニアコミュニケーション

山田 太郎 氏
ネクステック株式会社

2001

■ 飯塚 哲哉 氏
ザインエレクトロニクス株式会社

石橋 博良 氏
株式会社ウェザーニュース

井出 剛 氏
株式会社トランジジェニック

大谷 真樹 氏
株式会社インフォプラント

平澤 創 氏
株式会社フェイス

山田 真次郎 氏
株式会社インクス

吉田 直樹 氏
株式会社ウェッジ

前年度受賞者からのメッセージ



モナコはすごい! すごい! すごい!

株式会社大創産業 創業者
矢野 博丈 氏

モナコは本当にすごい所だった。モナカはよく食べていたがモナコは初めて訪れた。

ニース空港に着いてモナコまで向かう約30分の移動で、目に映る街並みの美しさと今から起こるであろう経験に緊張が高まり、ホテルに入るとさらに緊張感が溢れてきた。

モナコは産業でなく観光がお金になっている国だからすごい。モナコの豪華絢爛な街全体の美しさ、ゴージャスさにただただ驚嘆。今まで訪れた国で最も素晴らしい。イタリアの有名な建築家に街を設計してもらったようだが、日本も常に違う視点で物事を見ることが大事だと感じた。観光地として素晴らしい場所は日本にもたくさんある、もっともっと海外に学べば将来明るくなることだろう。帰国後は、会う方々に「是非、奥様と一緒にモナコに行ってほしい。しかも日本代表になればタダで行かせてもらえる。」と薦めているが、皆様にも、頑張ってWEYOYを目指し、モナコに行かれることをお薦めしたい。

到着した翌日からすぐに本番の審査に向けスピーチのトレーニングが始まった。最初のプレゼンは通訳込みでたった4分という制約、1秒たりとも過ぎてはならないという時間との戦い。最初に時間を計った時は7分を超えた。「よし。うまくいった」と思っても4分40秒と……、なかなか制限時間内にまとまらず、着いてから毎日、EYの担当者に厳しく指導してもらしながら何十回と練習を繰り返した。この年になると、周りの人に厳しくされ、鍛えられることがないのでそれが本当に有難く、刺激になった。本番直前で4分にまとまつた時にはなんとも言えない嬉しさが沸き上がった。トレーニング中には部屋の窓から見える景色に救いを求めるほど、とにかく大変だったと記憶している。

モナコに世界各国から集まっていた多くの経営者達は、皆、目が活き活きていた、また、女性起業家の方も多いことに時代の流れを感じた。世界はこれからだんだん小さくなり、これから時代は1つになっていく。そういう時代を生き抜くためには、当たり前だが、英語は必須ですね。

41歳まで自活でき親の援助を受けていた私だが、今では、ダイソーは1時間に1億円以上売り上げる企業にまで成長した。私は「ありがとう」という言葉が好きで、日々感謝する心が自分を鍛え、運が向いてくると思ってきた。人生最後は運だ。しかし、運の半分は持って生まれたものかもしれないが、残りの半分は自分を鍛えて掴むものだと思っている。今の結果が全てだということでなく、頑張れば2年後3年後に大きく変えることもできる。日々目の前の仕事にガムシャラに向き合い努力し、感謝することを忘れないで欲しい。

最後にEOY Japanを主宰するEYジャパンの皆様に感謝を申し上げますとともに、本年度受賞者の皆様、誠におめでとうございます。皆様の今後の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



サービスの流通創造への挑戦

株式会社ベネフィット・ワン 代表取締役社長
白石 徳生 氏

一年前のアワードセレモニー当日、各方面で活躍されているファイナリストの皆さんのプレゼンを聞いて、改めて素晴らしい人たちと戦っていたのだなと感じたことを覚えています。そのような中「Exceptional Growth部門」の大賞として名前を呼ばれた時には驚きましたが、ちょうどアワードセレモニーの一週間前に東証一部指定となったタイミングもあり、本受賞と併せて今まで取り組んできたことが認められたのだなと深く感じ入りました。その後、有難いことにモナコで開催された世界大会にもご招待いただき、各国を代表するアントレプレナーをはじめとする様々な方と交流し、大いに刺激を受けることができました。

当社は「サービスの流通創造」を経営ビジョンに、ユーザー定額課金型のサービスマッチングサイトを通じたサービス流通コストの引き下げと利便性向上に取り組んでいます。また、福利厚生・健康・ポイントを中心としたBPO事業のワンストップソリューションを提供することで、昨今の人手不足を背景とした働き方改革、健康経営、生産性向上などの企業の経営課題解決の一助となっています。

今後ますます変化が加速していく中で社会がどう変わっていくのか、人々の生活や経営スタイルもより大きく変化していくことでしょう。それにより何が生まれるのか、今までの成功要因を客観的・科学的に分析し、常に未来を予測しながら新しいことにチャレンジしていくことが不可欠です。

私のモットーは明るく前向きに挑戦すること。挑戦にはもちろん困難が伴いますが、同じことを繰り返すだけでは決して達成感を得ることはできません。後進のアントレプレナーの見本となるよう、これからも様々な局面で挑戦を続けていきます。

最後に、このような素晴らしい機会をご提供いただいたEY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパンの皆様に感謝を申し上げますとともに、本年度の受賞者の皆様のご活躍を心より祈念いたします。

日本代表選考委員

氏名五十音順

選考委員長



出井 伸之 氏

クオントムリーフ株式会社 代表取締役 ファウンダー&CEO
元ソニー株式会社 会長 兼 グループCEO

1960年早稲田大学卒業。ソニー株式会社に入社。入社後はスイス駐在、ソニーフランスの設立など主に海外事業に従事。帰国後オーディオ、コンピュータ、VTRなどの事業本部の責任者を歴任したのち、1989年取締役就任。1995年から2000年まで社長兼COOとして、2000年から2005年までは会長兼グループCEOとして、約10年にわたりソニー経営のトップを担った。2005年6月会長兼グループCEOを退任後、2006年9月にクオントムリーフ株式会社を設立、代表取締役 ファウンダー&CEO就任、現在に至る。



西澤 昭夫 氏

日本ベンチャー学会会長／
東洋大学経営学部教授／NICHe客員教授

筑波大学大学院社会科学研究科経済学専攻博士課程単位取得退学、1982年日本合同ファイナンス株式会社(現JAFCO)入社、JAFCO1号投資事業組合設立に従事、企画部長などを経て、1997年東北大大学院経済学研究科教授(ベンチャー企業政策担当)、NICHe副センター長、東北大大学院TLO社長、総長特別補佐(利益相反マネジメント担当)、副理事などを歴任、2005年米国AUTMよりBayh-Dole Award授与、2013年東洋大学経営学部教授、東北大大学院名誉教授、2016年日本ベンチャー学会会長。

選考委員



高岡 本州 氏

株式会社エアヴィーヴ 代表取締役会長 兼 社長
EOY2016 Japan 日本代表

1960年名古屋生まれ。名古屋大学工学部応用物理学科卒業後、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(MBA)。父親の経営する日本高圧電気入社。スタンフォード大学大学院に留学し、経済システム工学科修士課程修了。98年日本高圧電気代表取締役社長就任(現任)。

2004年に赤字経営であった叔父の経営する株式会社中部化学機械製作所(現 株式会社エアヴィーヴ)を引き継ぎ、マットレスパッド「エアヴィーヴ」を開発。07年同社代表取締役社長に就任。2017年より現職。



藤森 義明 氏

CVCキャピタルパートナーズ日本法人 最高顧問／
武田薬品工業株式会社 社外取締役／
ボストン・サイエンティフィックコーポレーション 社外取締役／
日本オラクル株式会社 取締役会長／株式会社東芝 社外取締役

1975年東京大学工学部卒業。同年日商岩井株式会社(現 双日株式会社)入社。その後、1986年に日本ゼネラル・エレクトリック株式会社に転じ、ゼネラル・エレクトリック・カンパニー シニア・バイス・プレジデントを経て、2008年日本ゼネラル・エレクトリック株式会社取締役会長兼CEOに就任。2011年株式会社住生活グループ(現 株式会社LIXILグループ)に移籍し、代表取締役会長兼CEOを歴任。2011年から2015年まで公益社団法人経済同友会の副代表幹事を務め、現在幹事に在任中。



古谷 元 氏

経済産業省 経済産業政策局 産業創造課 新規事業創造推進室長

1993年通商産業省入省。2001年ペイン・アンド・カンパニー・ジャパン入社。2002年UBS証券会社に入社し、株式調査部総合商社業界担当アナリストに就任。2004年株式会社アドバンティッジ・パートナーズに入社し、2008年6月パートナーに就任。2011年岩手県、宮城県及び福島県産業復興相談センターにシニア・マネージャーとして就任し、被災事業者の二重ローン対策に従事。2014年フロンティア・ターンアラウンド株式会社(現フロンティア・マネジメント株式会社)にマネージング・ディレクターとして入社。2016年株式会社丸の内キャピタルにマネージング・ディレクターとして入社。2019年9月より現職。



谷本 有香 氏

フォーブス ジャパン副編集長 兼 チーフコミュニケーションディレクター

証券会社、Bloomberg TV、日経CNBCで金融経済アンカー／コメンテーターとして従事。米国MBA取得。これまで、トニー・ブレア元英首相、ハワード・シュルツ スターバックス会長兼CEOをはじめ、3,000人を超える世界のVIPにインタビュー。現在、TOKYO MX「モーニングCROSS」他、TV出演多数。跡見学園女子大学兼任講師。著書に「世界のトップリーダーに学ぶ一流の『偏愛』力」(ディスクヴァー・トゥエンティワン)他。



渡辺 洋行 氏

B Dash Ventures 株式会社 代表取締役社長／
日本ベンチャーキャピタル協会 常務理事

株式会社三和総合研究所(現:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)入社後、IT-インターネット分野の調査研究業務及び国内外のコンサルティング業務に従事。三菱UFJ キャピタル株式会社投資部次長、ngi group 株式会社(現:ユナイテッド株式会社)投資事業本部長を経て、2011年にB Dash Ventures 株式会社を設立。同年、インターネット分野のスタートアップを主な投資先とするB Dash Fund を運用開始。現在合計3本のファンドを運用。

Are you
unstoppable?



The better the question. The better the answer.
The better the world works.

EY Entrepreneur Of The Year 2019 Japan
Supported by



三井不動産株式会社



モナコ政府観光会議局